

承認指令書番号 30動薬第1353号

2018年 11月改訂

貯法 気密容器

動物用医薬品
アルデヒド系消毒薬

指定 劇 10L

エクスカット 25%・SFL

主剤

【成分及び分量】

主剤:本品100mL中 グルタルアルデヒド 25 g

【効能又は効果】

畜鶏舎及びその設備、種卵、養鶏用器具器材、
手術解剖用器具器材の消毒

【用法及び用量】

エクスカット25%・SFL主剤を目的に応じて水で希釈して、用時調製する。
希釈液10Lあたりエクスカット25%・SFL緩衝化剤7.5mLを混和して使用する。
ただし、手術及び解剖用器具器材の消毒に高濃度で使用する場合は、希釈液1L
あたりエクスカット25%・SFL緩衝化剤30mLを加え混和して使用する。

適用病原微生物	使用目的	希釈倍率	使用量
一般細菌類 ウイルス類	畜舎、鶏舎及び その設備の消毒	200～1,000倍	1㎡ につき 100～300mLを 直接噴霧する。
	種卵、畜産養鶏用 器具器材の消毒	200～500倍	室温で 1 分間浸漬する。
		200～500倍	1㎡ につき 100～300mLを 直接噴霧する。
一般細菌類 ウイルス類 芽胞菌類	動物用の手術、解剖 用器具器材の消毒	10倍	室温で 60 分間浸漬する。

使用上の注意は、緩衝化剤のラベルに別記しております。

製造販売元



株式会社科学飼料研究所
東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

製造番号 XC

承認指令書番号 30動薬第1353号

2018年 11月改訂

貯法 気密容器

動物用医薬品
アルデヒド系消毒薬

指定 10L

エクスカット 25%・SFL

【成分】

緩衝化剤:緩衝塩類、色素

緩衝化剤

(基本的事項)

使用上の注意

<p>1 守らなければならないこと</p> <p>【一般的注意】</p> <p>(1)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 (2)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</p> <p>【使用者に対する注意】</p> <p>(1)直接原液に手を触れないように注意すること。希釈の際は、直接手でかきまぜるようなことはしないこと。皮膚に付着すると発疹、発赤などの過敏症を起こすことがある。 (2)25%原液の蒸気は、眼、呼吸器等の粘膜を刺激するので吸入又は接触しないように注意すること。 (3)万一身体に異常を来した場合や誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。 (4)噴霧使用に際しては、必ず手袋、保護マスク(活性炭入りマスク)、メガネ等の保護具を使用し、直接触れたり吸入しないようにすること。誤って眼に入った場合には直ちに多量の水で洗ったのち、医師の診察を受けること。 (5)なるべく身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにすると共に、できるだけ吸い込まないように注意すること。 (6)本剤を取り扱う場合には、ゴム手袋を装着すること。また皮膚に付着したときは直ちに水で洗い流すこと。 (7)作業終了後は、洗顔、手洗を励行すること。 (8)短時間で、作業を終了するようにすること。</p> <p>【対象動物等に関する注意】</p> <p>(1)畜鶏体に直接噴霧しないこと。</p> <p>【取扱い及び廃棄のための注意】</p> <p>(1)小分けしたり水で希釈するときは、食品用の容器等、誤用の恐れのあるものを使用しないこと。 (2)噴霧に際しては、皮膚、飲食物、飼料等に直接薬液がかからないようにすること。</p>	<p>(3)噴霧に際しては、消毒する対象物に近づけて行うこと。 (4)噴霧作業は手際よく行うこと。 (5)寒冷地では氷結することがある。このような場合、常温で放置して自然にとかすこと。 (6)炭素鋼製器具は、24時間以上浸漬しないこと。 (7)10倍希釈液の浸漬には、ふた付き容器を用い、使用中はふたをすること。 (8)畜舎をできるだけ開放にし、換気をよくすること。また風向きを確認し、風上側より噴霧すること。 (9)調製後(緩衝剤添加後)の液は、直ちに使用すること。 (10)食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない冷暗所に保管すること。 (11)本剤は劇薬である。使用後残った原液は、必ず保管場所にもどし、せんを確実に締めかぎのかかる冷暗所に保管すること。 (12)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。 (13)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。 (14)薬液が河川、湖沼、海域、養殖池、井戸、地下水などを汚染する恐れのある場所、養蜂、蚕(桑)、水生生物等に被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないこと。</p> <p>2 使用に際して気を付けること</p> <p>【使用者に対する注意】</p> <p>(1)アレルギー体質等で刺激を感じた場合には直ちに使用を中止すること。</p> <p>【取扱い上の注意】</p> <p>(1)0℃以下の保存において結晶が析出することがあるので、溶解して使用すること。</p> <p>【その他の注意】</p> <p>(1)グルタルアルデヒドの <i>in vitro</i> における変異原性について複数の報告がある。</p>
--	--

【製品情報お問い合わせ先】
株式会社 科学飼料研究所 動薬部
〒370-1202 群馬県高崎市宮原町3-3 TEL:027-347-3223

【製造販売元】
株式会社 科学飼料研究所
東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。